

<第14回「治療的乗馬」研究集会2019>

大会テーマ:「セラピー」と「スポーツ」のあいだ

~From 'Therapy' to 'Sports'; the fertile content in this field~

主催:特定非営利活動法人 日本治療的乗馬協会

共催:一般社団法人日本障がい者乗馬協会、公益財団法人ハーモニセンター、特定非営利活動法人 RDA Japan

後援:公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会、公益社団法人日本馬事協会、特定非営利活動法人動物介在教育・療法学会、日本獣生命科学大学、一般社団法人理学療法科学学会、東京農業大学、帝京科学大学、公益財団法人運動器の健康・日本協会、一般社団法人日本作業療法士協会

趣旨:「治療的乗馬」は、馬をパートナーとした障害のある人たちを対象とする、1)医療対応、2)心理・教育対応、3)スポーツ・レクリエーション、を意味しています。これらは個々に独立するものではなく相互に重なり合う側面をもっています。本大会では、パラリンピック2020を視野に、この領域の豊かさを考えます。

会期:2019年2月23日(土)・24日(日)

場所:国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟417
(〒151-0052 東京都渋谷区神園町3-1)

日程:

2019年2月23日(土)

12:30~13:00 受付

13:00~13:15 開会式

13:15~14:45 学生・大学院生等による発表(次世代育成プログラム)

座長:中田 順寿(特定非営利活動法人 RDA Japan)

現代社会 大切な絆

伊藤 結凜(学校法人 角川ドワンゴ学園 N 高等学校・RDA たま)

脳性麻痺(CP)児への乗馬療法効果の検討

関末 綾香(東京農業大学農学部 バイオセラピー学科 動物介在療法学研究室)

被虐待児に対する馬事活動プログラム提供の試み

倉持 早可(東京農業大学 農学部 バイオセラピー学科 動物介在療法学研究室)

14:45~15:15 一般演題:実践・研究報告 ①

座長:中田 順寿(特定非営利活動法人 RDA Japan)

やり続けるホースDEセラピー

高橋のり子(福山ホースクラブ・放課後等デイサービス まきば／たづな)

15:15~15:30 休憩

15:30~17:30 記念講演:「セラピー」と「スポーツ」のあいだ

Amanda Bond 氏(国際馬術連盟 パラリンピック担当理事)

座長:嘉納寛治(特定非営利活動法人 日本治療的乗馬協会)

18:00~ 情報交換会(会場:センター棟2階「カフェ フレンズ」)

2019年2月24日(日)

8:45~10:15 一般演題:実践・研究報告 ②

座長:柳迫 康夫(東京農業大学)

麻布大学での障害者乗馬活動 ~大学学生サークルと外部団体の共同~

要 武志 (児童発達支援・放課後等デイサービス すりーぴーす)・
佐藤 百香(麻布大学獣医学部獣医学科 馬活研究会代表)

**乗馬療育のファーストセッション時における一考察 ～馬に対する『怖さ』から
見る関わり方の特性～**

菅 寿恵・藤井 梓(子ども発達スクール かすたねっと)

**乗馬における進路変更時の筋活動について ～乗馬経験のある者と高齢者を
比較して～**

三浦理佳・川邊真歩・小島愛子・江刺尚美(特定非営利活動法人 ピスカリ)・
中島康博(北海道立総合研究機構 工業試験場)・田中敏明(北海道科学大
学)

10:15～10:30 休憩

10:30～12:00 **実行委員会企画シンポジウム;パラリンピック2020への道**

シンポジスト:宮路満英氏 (2016年リオパラリンピック出場)

高嶋活士氏 (2018年世界馬術選手権出場)

コメンテーター:Amanda Bond氏(国際馬術連盟 パラリンピック担当理事)

コーディネーター:三木則夫(一般社団法人 日本障がい者乗馬協会)

12:00～13:00 昼食

13:00～15:00 一般演題;実践・研究報告 ③

座長:鈴木 真(公益財団法人 ハーモニセンター)

そうちゃんの乗馬セラピー日記 ～心理・身体機能・認知・学習の変化～

谷脇 智恵子(一般社団法人 Live together 多機能事業所 一葉)

「自閉症者」にとっての乗馬活動(保護者/療育者/乗馬指導者として)

津田 和呂(RDA たま)

**馬を介在としたコミュニケーション能力の発達 -ホースセラピーの有効性に
関する事例的検討-**

松富有紀・原恭代・富田竜也・高井一馬・佐藤真衣・高橋美奈子・中島永至
(株式会社サーバント)・鈴木 壯(中部学院大学)

**可能性は無限大∞サラブレッドについて ～多様なニーズがあればサラブレ
ッド達はセカンドキャリアへ踏み出せる!～**

森田奈緒美(日本獣医生命科学大学獣医学科 比較発達心理学研究室・
Team Rosa)

15:30～15:45 休憩

15:45～16:45 一般演題;実践・研究報告 ④

座長:滝坂信一(特定非営利活動法人 日本治療的乗馬協会)

馬のいる学校 ～開校8年目の取り組み～

高木佑樹・矢田麻美(埼玉県立深谷はばたき特別支援学校 ポニー共育推
進委員会)

ポニーとのふれあいを通じた、肢体不自由教育の充実

篠崎 友誉・石川 拓(東京都立水元小合学園)

横浜市立若葉台特別支援学校での乗馬体験活動

工藤幹夫(横浜市立若葉台特別支援学校)・塚本雅弘(RDA Japan ユニット
RDA たま)

**「小学校3年生を対象とした「馬の授業」が子どもに及ぼす影響 ～三鷹市の事
例から～**

西田 奈央(三鷹市スポーツと文化部スポーツ推進課)・柿沼 美紀・野瀬
出・上田 祐子・牛 溪童(日本獣医生命科学大学比較発達心理学研究室)・
折田 琴美(公益財団法人 ハーモニイセンター)

16:45～17:00 総括協議・閉会式

研究集会参加費:2日間 会員5,000円／一般7,000円／学生3,000円

(23,24日のどちらか)1日間 会員3,000円／一般4,000円／学生2,000円

情報交換会参加費:3,500円